



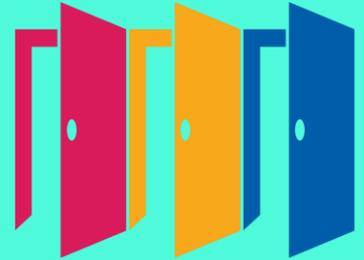
Isehara Rotary Club

International Rotary District 2780th/Group#7

2020-2021 年度 第 2696 回例会

令和 3 年 4 月 7 日 (水) 晴れ

RI 会長/ホルガー・クナーク
地区ガバナー/久保田 英男 (鎌倉 RC)
会長/築城 忠生
幹事/天野 耕一郎
会報委員長/田村 貴寿



ロータリーは機会の扉を開く

会長挨拶



2020-2021 年度/築城 忠生会長

前回に引き続き、ハイブリッドという形で開催いたします。コロナが発生して1年以上が経ちますが、1年前にこれから人々の暮らしが変わっていくんじゃないかと言った話が報道でありました。私はその時は1年くらいのものでそんなに人々のライフスタイルは変わらないんじゃないかと思っていました。ところが私自身、健康管理のために山へトレッキングに行ったり、DIYにはまったりしました。そのように、生活は変わらないと思っていた本人のライフスタイルがかなり変わりました。これからどのように社会が変わっていくか分からないものだとつくづく感じました。

今後の例会についてですが、今回は2週間後に通常例会を開催します。都合のつかない方、コロナが心配な方は、オンラインで参加頂き、通常例会をハイブリッドで行います。年長者の方は引き続き別室での参加をお願いします。この例会を次回から当面行っていきます。

また、今第4波の感染状況ですので、この先どうなるかわかりませんが、次回からは20名規模の参加で例会開催とさせていただきます。

先週、堂前会員から芝桜の植栽事業の経緯についてメールを頂きました。非常に大切なことで、反響が大きく、SNS等にも掲載しました。地域の芝桜が枯れていて、高齢の方々では手入れができず困っているという地域の事情があり、これをRCが上手く拾えたことが素晴らしいことだと思います。こうした地域のニーズをしっかりと受け止めながら事業化していくことが素晴らしいと思います。次年度以降もこのような活動をして頂ければと思います。

前回の例会で仙波さんに報告して頂きましたが、奉仕活動の一環として4月から市内の小中学校14校に消毒液とディスペンサーを配布することになりました。ディスペンサーは31台、消毒液は130本です。私たちのクラブだけではなく、中央クラブ、平成クラブとの合同事業として行いました。さらにこれを地区の財団に報告し、追加地区補助金ということで事業費を受けることになりました。合計80万円の事業費です。4月に市長を訪問し、贈呈式を行う予定です。その様子等は例会やSNSで報告させていただきます。コロナ禍ではありますが、着々と委員会中心に奉仕活動も進んでいることを併せて報告させていただきます。

ハイブリッド例会

点鐘

築城 忠生 会長

ロータリーソング

君が代・奉仕の理想
四つのテスト 磯崎貴史会員

司会

天野 耕一郎 幹事

今後の予定

- ・4/14 [第2697回] 休会
- ・4/21 [第2698回] 卓話: 山田昌紀君・大垣真一君/ハイブリッド例会
- ・4/28 [第2699回] 休会
- ・5/5 [第2700回] 休会
- ・5/9(日) [第2700回] I・M
- ・5/12 [第2701回] クラブ協議会/ハイブリッド例会

幹事報告

★ガバナー事務所より

- ・4月のロータリーレートのお知らせが配信されております。1ドル=110円
- ・ロータリー奨学生帰国報告会のご案内が配信されております。
日時 2021年4月24日(土) 15:00~17:00 奨学生帰国報告会
場所 Zoom会議室(*後日、ご案内致します。)
締切 4/16(金)
- ・2021学年度新規米山奨学生及び継続学生のためのオリエンテーション開催のご案内が配信されております。
開催日 2021年4月10日(土) 13:00~13:30 受付・登録
場所 藤沢駅南口 第一相澤ビル 6階「受付・登録」 8階「全体会議」
締切 3/31(水)
- ・次年度クラブ幹事研修かいさいのご案内が配信されております。
開催日時: 2021年5月15日(土) 15時~17時
開催場所: 新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて改めてご案内いたします。
- ・母子健康月間リソースのご案内が配信されております。

★例会変更のお知らせ

- ・秦野中 RC
 - ・平成 RC
- (以上資料はお知らせ済み)

スマイル報告

磯崎貴史/スマイル委員長

築城忠生君、田中徹君、田村貴寿君、濱田勝彌君、吉川昌男君、佐伯崇興君、須藤宜弘君、増田隆一郎君、荒巻哲朗君、松下孝君、萩原庸嘉君、東井重和君、堀口雅巳君、熊谷勝利君、磯崎貴史君

出席報告

堀口雅巳/出席副委員長

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率(%)	前々回修正出席率(%)
52	49	24	48.97	なし
MAKE UP				
なし				

表彰式

[財団寄付]

- ・ポール・ハリス・フェローPin8 松下孝君
- ・ポール・ハリス・フェローPin1 小泉隆一郎君



近況報告



増田隆一郎君

お久しぶりでございます。昨年3月初めに肺炎になりまして急きょ入院し、意識がなくなり1ヶ月半、気管切開いたしまして生き返りました。6月からリハビリを始め、やっと12月に退院し歩けるようになりました。今月からゴルフも始めようかと思っております。また、出席させていただきたいと思っております。

委員会報告

田中徹/会長エレクト

[地区研修・協議会 開催のお知らせ]

オンラインによる開催

・全体会議

2021年4月18日(日) 午後1時~午後3時 第1相澤ビル8階
ガバナーと一部地区スタッフによるライブ配信形式

・テレワーク研修

指定された役職の方はラーニングセンターコースから役職毎
指名したコースを受講 詳細は4月上旬

卓話

自動車のEV化の現状と今後/渡辺有一君



皆さんこんにちは。渡辺自動車の渡辺です。

本日皆さんにお話しするのは自動車のEV化の現状と今後についてです。2020年10月26日に菅内閣が2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会)を目指すことを宣言しました。カーボンニュートラルとは二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量と吸収量を同等にし、温室効果ガスを0にするということです。乗用車は2030年、二輪車は2035年までに達成を目指すとのことです。宣言を受け、日本自動車工業会の豊田会長もカーボンニュートラルにチャレンジするという事でした。今回は世界各国のEVの状況や、日本の現状をお話します。

近年、世界では電気自動車の製造・販売が続いております。一番有名なのはアメリカのテスラ社で、2020年の販売台数は約50万台。これはトヨタグループの1/20の販売台数です。中国やフランスでも格安なEV車が生産されています。欧州のオランダ、ノルウェー、スウェーデンが2030年、中国・アメリカのカリフォルニアは2035年にはガソリン・ディーゼル車の生産・販売を終了します。また、世界各国の主要都市は順次EV車以外の乗り入れは禁止となります。日本ではガソリン・ディーゼル車の販売台数は2019年で年間500万台販売のうち61%程。それ以外が次世代自動車のハイブリッド、水素、EV車ですが、殆どがハイブリッド車です。これを2030年には5割~7割に上げたいと謳っています。

メーカー側では、ボルボが2030年までに全てのボルボ車をEVに、ベンツは2022年までに6車種をEVに、日産は2030年代早期より主要市場に投入する新型車全てをEV車とすとなっています。ここまでが、今出ている事実です。

ここからは、それについての私の感想をお話します。

これはあくまで目標値です。2030年のオランダ、ノルウェー、スウェーデンの年間販売台数は15万台ですので、そこが謳ったところでどうなるのでしょうか?自動車生産販売の主要国であるドイツ・アメリカ・日本が言わない限りは進まないのではないかと思います。一番問題だと思っているのは、今充電設備が各国ともすごく少ないです。15万台のオランダでさえ、今の状況では充電するのに大渋滞が起きると思います。次に規格の違いです。今EVの規格は15位あります。ヨーロッパとアメリカは大体同じような規格ですが、日本や中国はまだ違います。テスラも違います。少なくともこの5種類が同じにならなければならないし、日本だけが違う規格であれば、携帯と同じようにガラパゴスとなります。このインフラ設備と同時に充電電池の性能も上げなくてはなりません。それができる国が少ないので、2030年までにというのは無理だと思います。努力目標だと思います。

私は自動車修理業をメインとしていますが、テスラ車は特別な充電装置を持っていて、横浜から名古屋までの高速道路に箇所、下道に2箇所の計4箇所しかありませんでした。御殿場と浜松にその施設がありますが、それぞれ6台分しかありません。販売店自体も東京に2箇所、大阪と名古屋に1箇所です。それで販売しても何かあった時には大丈夫なのかと思いましたが。修理には国際的な基準があり、それを元に診断及び修理はできますが、テスラ社にはそれがありません。ソフトの面ではアップデート出来たとしてもハード面の修理はどうするのか、リコールがあった場合はその4箇所に対応可能なのか、ということを見ると日本国内でテスラ車に乗るのはまだまだ厳しいと思います。

日本国内では、豊田会長がチャレンジすると言っていますが、EVになると部品点数が減るので、下請けが大変なのではないかという話もありましたが、世界的にみればそんなことは関係がないことなので、進んで行くと思います。部品点数は減るし、壊れなくなってくると思います。私達もそれに対応していかなければなりません。車のバンパーを交換する場合でも、最新の自動運転の車等はそのセンサーやカメラがついているので、その調整もしなくてはならず、昔のようにただ外して付けるというわけには行きません。正確な取り付け、調整をしないと自動ブレーキが効かないなどの誤作動を起こす可能性もあります。整備には大きく分けて、認証整備と指定整備の2種類があります。ディーラーは殆ど指定整備で、新しくその次に特定整備というものが出ました。特定整備とは電子デバイスをきちんと整備できるところを言います。それがないと次世代の車はここでは車検が取れません。弊社もこの特定整備を取得しました。このように車業界でも生き残りをかけて色々やっつけていかなければなりません。常に適合していかなければ、生き残れません。一般のお客様もいつも行っている所がどこまで整備してくれるところなのか、確かめて行くようにすればより安心だと思います。